

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証プライム)
問合せ先 取締役 大内 秀雄
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

個別業績の前期実績値との差異及び特別損失の計上(個別)に関するお知らせ

当社は、2026年1月期の個別業績につきまして前期実績値との差異及び特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

2026年1月期個別業績値と前期実績値との差異(2025年2月1日～2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	577	△267	△236	△237	△4.33
当期実績(B)	225	△275	△286	△5,722	△103.69
増減額(B-A)	△352	△7	△49	△5,484	
増減率(%)	△60.9	—	—	—	

1. 差異の理由

当事業年度の売上高におきまして、主に米国顧客における在庫調整の影響により出荷が減少したため、前期実績売上高を下回りました。また、関係会社株式評価損、関係会社社債評価損を特別損失として計上したこと等により当期純利益が当事業年度において前事業年度を下回りました。

2. 特別損失の計上(個別)について

当社は、2026年1月期連結累計期間(2025年2月1日～2026年1月31日)の個別決算において当社連結子会社であるW-SCOPE KOREA CO., LTD.に対する出資について、株式及び転換社債の直近評価額が下落したため「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損4,098百万円、関係会社社債評価損1,093百万円を特別損失として計上しました。

なお、上記特別損失はグループ会社間取引のため連結決算において消去されるため、2026年1月期の連結業績に与える影響はありません。

以 上